

社会資本総合整備計画 事後評価書												令和06年12月19日
計画の名称	中心市街地の再整備による住環境の向上と賑わいの再生											
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	伊勢市											
計画の目標	伊勢市駅周辺の道路や駐輪場の再整備と空家対策、商店街活性化対策への支援により、住環境の向上を図り中心市街地のかつての賑わいを再生する。 また、伊勢市景観計画の重点地区内においては、市民共有の財産である景観を守ること地区内の住環境を整備し賑わいと活気を創出する。 目標1：伊勢市駅周辺及び商店街の活性化を図り、かつての賑わいを取り戻す。 目標2：空家対策等により区域内の人口減少率を85%（自然増減相当分）に抑える。 目標3：道路、駐輪場等の再整備や空家対策により、住環境の向上を図る。 目標4：重点地区内の整備により魅力を向上させ、賑わいと活力を創出する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,140	A	3,140	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A+B+C+D）	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29	R3	R5
1	商店街及び伊勢市駅周辺の歩行者数3,752人/日（H30.3）を4,028人/日に増加させる。 商店街（伊勢市駅前、新道、高柳、浦之橋、明倫、河崎本通り）及び伊勢市駅北口の1日の歩行者を調査する。 午前9時から午後6時まで計7箇所の歩行者数の合計	3752人/日	3850人/日	4028人/日
2	地区内人口7,619人（H29.10推計人口）を7,050人（H35.10推計人口）で抑える。 地区内人口（10月1日の推計人口）を調べる。 推計人口	7619人	7335人	7050人
3	街頭アンケートによる中心市街地の整備についての満足度の平均値を3.5（H27）から3.7（H35）へ増加させる。 街頭アンケートにより中心市街地の取組みについての満足度（住環境の向上についての回答に重み付けをした点数の平均値）を調査する。 選択肢5項目のそれぞれの回答数に各項目毎に1～5を掛けた数値の合計を回答者総数で割った数値	3－	3－	3－
4	今後も減少すると推計される主要観光施設への来訪者数527万人（H27年）を維持させる。 伊勢市景観計画における重点地区内の歴史的まちなみを感じられる施設（おかげ横丁、寶日館）への年間の来訪者数を調査する。 2施設の来訪者数の合計	527万人	527万人	527万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標3：システム上表示されていないが、現況値、中間目標値、最終目標値については、それぞれ 3.5、3.6、3.7 に設定している。定量的指標4：当初現況値は平成27年の値を採用している。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	伊勢市	直接	伊勢市	-	-	都市再生整備計画事業	地区面積153ヘクタール 地域生活基盤施設、高質空間形成施設 等	伊勢市	■					11		-
	令和2年度から都市構造再編集集中支援事業へ移行																		
											小計						11		
住環境整備事業	A16-002	住宅	一般	伊勢市	間接	再開発会社	-	-	伊勢市駅前B地区第一種市街地再開発事業	地区面積約0.3ha	伊勢市	■	■				43	1.25	-
	補助率1/3																		
	A16-003	住宅	一般	伊勢市	間接	再開発会社	-	-	伊勢市駅前B地区第一種市街地再開発事業	地区面積約0.3ha	伊勢市	■	■				1,867	1.25	-
	補助率1/3×1.35																		
	A16-004	住宅	一般	伊勢市	間接	再開発組合	-	-	伊勢市駅前C地区第一種市街地再開発事業	地区面積約0.3ha	伊勢市	■	■	■	■	■	1,183	1.03	-
	補助率1/3 ただし土地整備費、施設整備費は1/3×1.2																		
	A16-005	住宅	一般	伊勢市	間接	個人	-	-	街なみ環境整備事業（内宮おはらい町地区）	地区面積約6.7ha 民間住宅等への修景補助	伊勢市	■	■	■	■	■	26		-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-006	住宅	一般	伊勢市	間接	個人	-	-	街なみ環境整備事業（二見町茶屋地区）	地区面積約15.5ha 民間住宅等への修景補助	伊勢市	■	■	■	■	■	10		-	
												小計						3,129		
											合計						3,140			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
伊勢市都市整備部都市計画課において実施 なお、都市再生整備計画に係る部分は、事業評価委員会における事後評価を引用	令和6年3月、令和6年11月
	公表の方法
	伊勢市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	いずれの指標についても目標値には達していない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	レンタサイクルの利用率がふえていることから、観光客の自転車利用に移行していると推測される。また、他事業による道路整備により歩行者空間が改善されていることから、今後は歩行者数も増えるものと考えられる。 満足度については、生活環境の向上以外の比較可能な過去のアンケート設問27項目の平均値は向上している。 主要観光施設への来訪者数についても、令和4年以降は増加しており今後も増加するものと推測される。
○特記事項（今後の方針等）	
市街地における交通利便性の向上を目指し、歩行者だけでなく自転車利用者にとっても安全で快適な空間の確保、整備を推進する。 立地適正化計画と整合させ、既存都市機能の維持・拡充や商業施設・子育て支援施設の拡充により中心市街地の活性化を図る。また、それらの機能を支える道路や公園、緑地の整備等を引き続き行い、中心市街地の都市機能や住環境が往生するよう取り組む。 バリアフリー化を今後、市道や生活道路にも普及させていく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	商店街及び伊勢市駅北口の歩行者数		
	最 終 目標値	4028人/日	周辺で実施中の事業があることと、観光客がレンタサイクル利用に移行していることが要因と推測される。
	最 終 実績値	2957人/日	
2	地区内人口		
	最 終 目標値	7050人	人口減少のうち社会増減は減少から増加に転じているが、自然減少が推計より多くなった。
	最 終 実績値	6927人	
3	中心市街地の整備についての満足度		
	最 終 目標値	3－	他事業により周辺道路が再整備されたが、満足度が「高まった」の回答率は半減した。実績値は3.4。
	最 終 実績値	3－	
4	主要観光施設への来訪者数		
	最 終 目標値	527万人	新型コロナウイルスによる行動制限等の影響から回復しきれていない。
	最 終 実績値	489万人	